



今年の高校入試を分析したら、こんなことがわかりました！

合格者の社会の平均点は、51.0点

☆正答率が高かった問題は地理的分野に関する問題です。
小問別では、基本的な知識に加え、地図や統計などの各種の資料を読み取る技能の定着が図られています。



正答率^(※)の低かった問題を見てみましょう！

<地理的分野>では…

- フレックス車の生産台数が増えている理由を、環境問題と関連付けて説明する問題が49.6%
→ 複数の資料を関連付け、多面的・多角的に考察・判断し説明する力が不足
- 日本海側の気候の特色を資料から判断し、その理由について説明する問題が、記号33.5%、理由が35.6%
→ 基礎的な知識を活用し、資料から判断し、読み取る力が不足

地理的事象を覚えるだけの学習にならないよう、地図や資料を活用した学習活動を行うなど、生徒の関心を引き出す指導の工夫を行い、複数の資料を手がかりに、地域的特色を考察し、その根拠を自分の言葉で表現させる活動を多く取り入れましょう！

<歴史的分野>では…

- 鎌倉時代の仏教の特色を判断する問題が、24.2%
→ 各時代の文化の特色を大きくとらえ、理解する力が不足
- 藩閥政治の実権を握った雄藩を判断する問題が、23.7%
→ 近現代史に関する基礎的・基本的な知識の不足

基礎的・基本的な知識のより確実な定着に加えて、知識を活用して各時代の特色を考察し、自分の言葉で表現させる活動を多く取り入れましょう！

<公民的分野>では…

- 国民審査を答える問題が、30.2%
→ 政治に関する基礎的・基本的な知識の不足
- コンビニエンスストアの販売額や店舗数が増えた理由を各資料から読み取り、説明する問題が、25.9%と17.8%
→ 身近な消費生活における多様な側面について資料を基に考察し、説明する力が不足

現代社会をとらえる見方や考え方を活用し、具体的・体験的事例を考察する場面を授業の中でも取り入れましょう！

<3分野融合>では…

- 大阪で綿織物が広まっていた理由を、資料を基に考察して、説明する問題が、22.0%
→ 江戸時代の産業の特色を大きくとらえ、説明する力が不足

政治史だけではなく、人々の生活に根ざしたモノや産業に注目させ、各時代の特色について考察させる活動を取り入れましょう！



「分かる！・できる！」まで教えよう！（授業改善のkeyword）
各問いの出題内容・ねらい及び正答率は裏面をご覧ください！
詳しい分析は、学力検査問題と報告書を見てくださいね！

(※)正答率については、合格者5,010人の中から、無作為に抽出した650人(13.0%)分のデータです。

小問ごとの内容及びねらい

大問	小問	内容	出題形式			評価の観点			正答率	
			記号 選択	用語 記述	記述	知識 理解	思考 判断 表現	資料 活用 の 技能		
1	1	(1)	太平洋の位置について理解している。		○		●		97.3	
		(2)	資料から人口と面積の上位5か国の地域的特色を判断することができる。	○			●	●	77.4	
		(3)	資料から4か国の特徴を読み取り、その中からアメリカを判断することができる。	○			●	●	89.7	
		(4)	キトとマナオスの気候が異なる理由について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	53.0
		(5)	2つの資料から、フレックス車の生産台数が増えた理由を、環境問題を関連付けて考察し、説明することができる。			○		●	●	49.6
	2	(1)	東北地方の自然環境について理解している。		○		●		73.5	
		(2)	資料から1府3県に関する自然環境の特徴を読み取り、その中から三重県を判断することができる。	○			●	●	68.3	
		(3)	日本海側の気候の特色を、資料から降水量と関連付けて考察し、説明することができる。	○		○		●	●	記33.5 理35.6
		(4)	資料から三重県に関する工業の特徴を読み取ることができる。	○			●		60.2	
		(5)	宮崎県の農業の特色について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	ア62.9 イ67.3
2	1	(1)	弥生時代に区分される遺跡と人物を理解している。	○			●		84.5	
		(2)	律令国家の政治のしくみについて理解している。		○		●	●	56.1	
		(3)	飛鳥時代の日本と韓国の仏像が似ている理由について、資料を基に考察し、説明することができる。			○	●	●	59.9	
		(4)	鎌倉時代の仏教に関するできごとについて理解している。	○			●		24.2	
		(5)	オランダが日本との貿易を許可された理由について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	40.0
	2	(1)	雄藩及び藩閥政治について理解している。	○			●		23.7	
		(2)	殖産興業について理解している。		○		●		35.0	
		(3)	八幡製鉄所が現在の北九州市に建設された理由について、資料から判断することができる。	○				●	●	65.5
		(4)	1930年代の日本の工業の変化について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	66.7
		(5)	端島炭坑の住民がいなくなった理由について、資料を基に考察し、日本の経済的背景から説明することができる。			○		●	●	57.9
3	1	(1)	国民審査について理解している。		○		●		30.2	
		(2)	国会の働きについて具体的事例を通して理解している。	○			●		47.4	
		(3)	ノーマライゼーションについて理解している。	○			●	●	73.7	
		(4)	小選挙区制の特徴について、具体的事例を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	ア34.8 イ32.2
		(5)	ふるさと納税の利点について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	ウ49.5 エ54.1
	2	(1)	累進課税について理解している。		○		●		67.1	
		(2)	公企業と私企業のちがいについて、具体的事例を通して理解している。	○			●		58.5	
		(3)	不景気のときに政府が行う財政政策について、資料を基に考察し、判断することができる。	○			●	●	65.7	
		(4)	将来の社会保障給付費の総額と負担について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	ア65.7 イ40.0
		(5)	コンビニエンスストアの販売額と店舗数の増加の理由について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	ウ25.9 エ17.8
4	融合	(1)	正距方位図法の読み取りを行うことができる。	○			●	●	81.2	
		(2)	木造船と日本の歴史との関わりの流れについて、具体的事例を通して理解している。	○			●	●	41.5	
		(3)	循環型社会について理解している。		○		●		61.8	
		(4)	17世紀以降の大阪で綿織物が広まっていた理由について、資料を基に考察し、説明することができる。			○		●	●	22.0